

2021年度 活動報告 ・ 2022年度 活動計画

展示委員会

2022年6月3日

委員長
小柳 諭

目次

1. 部会・委員会の概要

1.1. 展示委員会の組織

1.2. 展示委員会の活動概要

1.3. 展示委員会の活動業務

2. 2021年度 活動報告

2.1. ITEM2021の実績

2.2. 核医学会併設展示会の実績

3. 2022年度 活動計画

3.1. 2022年活動計画

3.2. 展示委員会の課題

1.1 展示委員会の組織

- 業務担当理事：松山 和矢（富士フイルムメディカル(株)）

- 委員長：小柳 諭（富士フイルムヘルスケア(株)）
- 副委員長：遠藤 裕（富士フイルムメディカル(株)）
：浅野 博史（(株)島津製作所）
- 委員：傳法昌幸（(株)根本杏林堂）
：勝谷拓実（シーメンスヘルスケア(株)）
：四方康（コニカミノルタジャパン(株)）
：野川明子（(株)フィリップス・ジャパン）
：小森佳恵（キヤノンメディカルシステムズ(株)）
：菅原香（GEヘルスケア・ジャパン(株)）

1.2 展示委員会の活動概要

- 役割と基本方針
 - 展示委員会は、JIRAの中核事業である展示事業における計画を立案し、事務局と協力し円滑な展示会運営を推進する
 - 画像医療システム産業の外部環境変化に対応し、業界の発展に資する魅力ある展示会の企画を立案する
 - 学会がリアルとWEBのハイブリッド開催の流れの中、学会併設展示会としての在り方を、どの様な方向に導くのか見極める重要な時期であり、過去の踏襲に捕らわれず、学会の動向を踏まえて新たな概念をもった展示会の運営が必要と捉える

1.3 展示委員会の活動業務

- ハイブリッド（REAL、WEB）展示計画対応
 - ハイブリッドの特性を生かした展示企画・プラットフォームの構築
 - リアル展示への参加者誘導を目的とした連携企画の立案と決定
 - JIRA特定テーマプレゼン／展示など、新規施策の立案と決定
 - JRCオンライン学会との連携強化
 - 参加者・出展社観点での展示会運営
 - 展示開催年度に即した展示会運営マニュアル作成
 - 展示会運営マニュアルの出展参加企業への周知（展示説明会実施、WEBでの告知）
 - 展示効果向上を目的とした出展参加企業へのJRC/ITEM登録者情報の開示
- REAL展示会運営対応（安全管理、コンプライアンス、他）
 - 展示会場開催期間／搬入出のセキュリティ（盗難・事故）管理、感染予防対策
 - 災害を想定した避難訓練の実施（避難経路・避難誘導灯・避難誘導場所の告知）
 - 出展社ブースの展示会運営マニュアルに遵守した展示施工と薬機法未承認品出展の確認

2.1 2021年度 活動実績：ITEM2021の実績



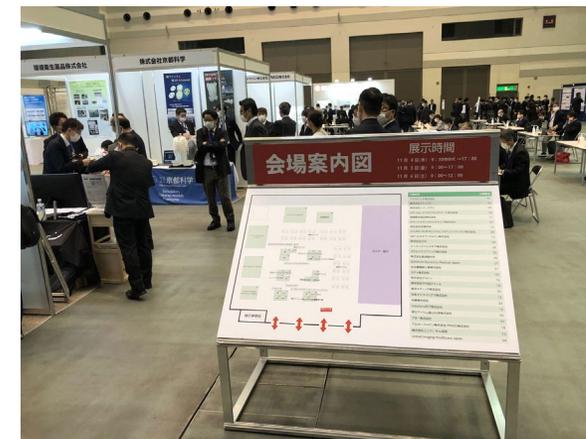
- ITEM2021-REAL, WEB (ハイブリッド) を開催
 - ITEM2021-REAL : 2021年4月16日(金)-18日(日) パシフィコ横浜
 - 出展社数 132社 (対ITEM2019 30社減)、出展面積 7,431m² (対ITEM2019 1,547m²減)
 - 実入場者数 6,209名 (対ITEM2019 15,928名減、72%減)
 - コロナ感染対策の徹底 (検温、消毒、会場内人数管理、スタッフ名簿収集等)
 - ITEM来場者事前登録、JRC登録者のデータ取得を開始
 - ブース来場者情報提供サービスを実施
 - ITEM2021-WEB : 2021年5月12日-6月3日
 - WEBブース出展社数 104社
 - 来場者数 1,731名
 - 特定テーマ、学会プログラム製品技術リンクの企画を実施

2.1 2021年度 活動実績：ITEM2022の準備



- ITEM2022（ハイブリッド）開催に向けた準備を実施
 - ITEM2021のフィードバックから、リアルとWEBの一体化をはかり、参加者の利便性向上、出展社の準備作業負担を減らすことをはかる
 - 2021/7～10：ITEM2022展示実施要項を制作。合わせて、ITEM2022ポスターを制作
 - 2021/10：小間抽選会実施に向けて出展社希望面積に合わせた展示会場レイアウト制作
 - 2021/10：展示実施要項説明会・小間割抽選会を実施
 - 2021/12：VOD配信を合わせたJIRAステージ企画（特定テーマ、企業プロモーション）、ブースレポート企画内容を決定、募集を開始
 - 2022/3：コロナ感染対策を行政ガイドに合わせて決定し、神奈川県へ大規模イベントとして申請、認可を取得

2.1 2021年度 活動実績：核医学会の実績



● 併設展示会

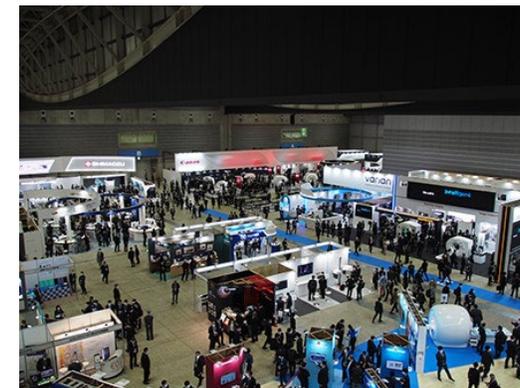
- 会場：名古屋国際会議場
- 会期：2021年11月4日(木)～6日(土)
 - 出展社：28社246㎡（2020年23社201㎡）
 - 学会現地参加者1000名（学会登録者は2,300名）
 - 学会はハイブリッド開催であったが、展示はREALのみ実施
 - コロナ感染対策の徹底（検温、消毒、スタッフ名簿収集等）

3. 2022年度 活動計画

2022年度の活動としては、国際医用画像総合展、日本核医学学会併設展示会における課題を解決し、出展社・来場者に対して各々が参加し易く、有効な展示会となることを目指して下記の施策を実行していく

- ITEMで2回のハイブリッド経験を踏まえ、企画を成長・成熟させ、来場者に魅力ある展示会にする
- 情報デジタル化を進めている中、便利で信頼性の高い情報プラットフォームを構築する
- コンプライアンスの徹底、薬機法及び個人情報保護法、展示要項を順守した展示会にする
- 大企業から中小企業の出展各社が、公平且つ効果のある参加が出来るように努める
- 将来の為に他業種Web展示会のノウハウを取得する

3.1 2022年度 活動計画：ITEM2022の実績



- ITEM2022 パシフィコ横浜展示と統合WEBサイトのハイブリッド開催
 - 2022年4月15-17日：パシフィコ横浜
 - 出展社数 137社（対ITEM2021 5社増）、出展面積 7,910㎡（対ITEM2021 479㎡増）
 - 実入場者数 11,153名（対ITEM2021 180%）
 - JIRAステージ(特定テーマ・企業プロモーション)、ブースレポート(開催前日にブースを録画して紹介)の企画を行い、ブースへの来場者誘導を図った
 - ブース来場者情報提供サービスを実施
 - コロナ感染対策の徹底（検温、消毒、会場内人数管理、スタッフ名簿収集等）
 - 統合WEBサイト
 - プレオープン：2022年3月15日（火）、会期：2022年4月15日（金）～5月18日（水）として開催
 - 全てのITEM情報を統合WEBサイト（item2022.com）に一元化し、参加者の利便性をはかった
 - サイト登録者数：10,148名
 - 出展社WEBブース訪問者数（重複カウント無し） 1,929名 - 82社WEBブースを公開

3.1 2022年度 活動計画

- 世界核医学会2022併設展示会準備：2022年9月7日(水)-11日(日)国立京都国際会館
 - REAL展示のみ
 - 展示会場レイアウト決定、実施要項の制作
 - 社会情勢に合わせたコロナ感染対策の実施
- ITEM2023準備：2023年4月14日(金)-16日(日)パシフィコ横浜展示、WEB期間未定
 - ハイブリッド開催準備
 - ITEM2022で実施したJIRAステージや出展社ブースレポート等のVOD配信でのハイブリッド連携企画のフィードバックを今後の企画に生かす
 - デジタル化が進む中、ワークフロー改善を継続、安定性確保を進める
 - ポスター制作
 - 展示会場レイアウト決定
 - 展示実施要項説明会・小間割抽選会の計画
 - 社会情勢に合わせたコロナ感染対策の実施

3.2 展示委員会の課題

- 学会のハイブリッド開催が定着する中、実展示とWEBを連携させた企画・方法の検討を進める
- 企画立案を強化するための人材育成に注力する
- 国際医用画像総合展へIT系企業、海外企業への参画を募る情報提供を検討する

ご視聴
ありがとうございます
ございました

JIRA

一般社団法人 日本画像医療システム工業会
Japan Medical Imaging and Radiological Systems Industries Association